

発行所
愛知県八幡山吉田村大字
下吉田字紺屋平97番地の1
電話(山吉田)1番

山吉田村役場
発行人 梅田豊一
編集人 松井正則
印刷所 株式会社
東三印刷(新) 70番



増減は
器かたむく
水と見よ
あちらに増せば
こちら減るなり

二宮翁の道歌

昭和二十九年に四十四件、
昨年四十三件ありました。
これは正式に、優生保護法
第十六条と記入されたもの、
数字で、ヤミの件数を想像し

戸籍上からみた
世相の一断面図

一、はじめに
昭和三十年中の、山吉田村
における戸籍事件表がまとま
りましたから、過去十一年の
数字を表にして、世相の一断
面図をのぞいてみて、そこに
如何なる問題が潜在している
であろうかを、考えてみたい
と思います。

過去十一年の出生死亡婚姻離婚戸籍事件表

昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年
出生	102	113	121	126	130	134	138	142	146
死亡	108	115	122	128	132	136	140	144	148
婚姻	3	4	5	6	7	8	9	10	11
離婚	1	2	3	4	5	6	7	8	9

二、出生について

終戦後、男子が復員してき
て、その人々が実際結婚式を
挙げたのは、昭和二十一年、二
年が多かつたのかもわかりま
せんが、戸籍に届出た婚姻数
は、昭和二十三年が一番多く
なっております。

この現れとして、昭和二十
四年に出生が最高で、一四一
人ありますが、それからだん
だん減つて、昨年はその半分
に近い八〇人です。

こゝで考えられますことは
人口の移動とともに、優生保
護法などの成立による妊娠中
絶が、どの位、行われている
だらうかということでありま
す。

昭和二十九年に四十四件、
昨年四十三件ありました。
これは正式に、優生保護法
第十六条と記入されたもの、
数字で、ヤミの件数を想像し

世相の一断面図

面図をのぞいてみて、そこ
如何なる問題が潜在してい
るであろうかを、考えてみた
と思います。

三、死亡について

この中には、一年に三回も
行つてゐる人があり、二回と
いう人も相当ありますから、
人数としては実際四十名を割
るでしようが、大體の見当は
つきます。

選妊に対する認識も、どの
程度普及されているかわかり
ませんが、農協で販売された
昨年中のコンドームの数は、
二十四ダースだそうでありま
す。

他所でどの位購入されるか
実態は掴めませんが、それに
しても、表面に余り口に出し
て置く叫ばれないけれども、
生活と結びつけて考へる場合
相当深刻な問題として、の模
相を呈していると思えます。

社会教育も、こうした問題
を、真面目に、真剣にとり
上げ、社会学級などを通じて、

適切な指導をすることが、必
要ではないかと痛感させられ
ます。

次に、昨年の出生児の体重
を調べてみました。

一〇〇〇匁〜九〇〇匁 一四
九〇〇匁〜八〇〇匁 三一
八〇〇匁〜七〇〇匁 二六
六〇〇匁〜五〇〇匁 九

大部分は平均以上になつて
いると思ひますが、農村にお
ける婦人の労働力、妊婦の榮
養の問題は、識者の意見を伺
いたいと思ひます。

こんなことから、山吉田村
の人口は、どのように変遷し
てきているでしようか？

また人口の増減は何によつ
て生じるであろうか？この増
減が意味するものは何である
か？

歴史の発展、産業振興上か
らみて、貴重な資料となりま
すが、またの機会に譲らせて
いただきます。

現在の人口、三、四六七名
(住民登録による)は昭和四
五年頃の人口と大體同じです

三、死亡について
死亡も年々減少の傾向にお
ります。

昭和二十一年が非常に多く
なつておりますが、戦病死の
公報が整理されて、この年に
通知があつたからです。
死亡命令は、七十才から八
十才が一番多くなつておりま
す。
「人生僅か五十年」と云われ
ておりましたが、これにより

ますと、平均寿命が相当延び
たことになりました。

従つて病名も、老衰が多い
のですが、衛生行政的に考へ
るならば、村全体の病氣は何
が多いかを調べてみなければ
ならないと思つております。

四、婚姻について
結婚式を挙げてから、届出
までの期間を調べてみますと
昭和三十年は、当月が一件、
一カ月後までに十四件、大部
分は一年以内に届けておりま
すが、中には二年後が二件あ
り、子供が生れそうだから
と、あわて、届出る人もあり
ます。

婚姻は届出によつて効力を
発生し、法律は保護いたして
おりますから、届出をしない
と内縁の夫、妻であり、どち
らかと云うと、女性側に不利
な条件が多いと思われましか
ら、結婚式を挙げてから暫く
試験合にのせて、気に入ら
な届出をするというふうな封
建的な考へは是非改めたい
とき、試験合は結婚式前に
しつかりのせていたゞき、届
出は速かにして下さい。

村報「常識の窓」に詳細掲
載

山吉田の人は、どの方面の
人が好きで結婚するかについ
て、昨年の事件表から拾つて
みますと、
村内五、引佐町(主として
鎮玉)五、新城町(八名、舟
着を含む)五、他は一、二と
バラ／＼になつております。

村全体から眺めてみますと
遠州が非常に多く、それも買
われてくる方が多くて、行く
方は少なくなつておるようであ
ります。

結婚改善は、遠州にも呼び
かけなければいけないことにな
ります。

五、離婚について
婚姻の一番多かつた昭和二
十三年が、十三件で、八乗で
も多い方でした。
昨年にも、婚姻三十件に対
し、離婚は四件もあり、決し
て少い方ではありません。
悲しむべき離婚がこのよう
にあることは、結婚の在り方
について、親も子も共にもつ
と真剣に、考へなければいけ
ないのではないでしようか？

六、終りに
以上は大雑束な考察であり
ますが、いろいろな角度から
この事件表をみて考えさせら
れるものがあると思ひます。
このさゝやかな調査でも、
解決すべき問題は何処にあ
るかが教へられます。

もつと総合的な実態調査を
して、しつかりと村づくりの
課題を把握し、その上で、行
政の上からも、経済の面から
も、また教育の立場からも、
解決策を講じなければならな
いことを、感じさせられま
す。

以上は大雑束な考察であり
ますが、いろいろな角度から
この事件表をみて考えさせら
れるものがあると思ひます。
このさゝやかな調査でも、
解決すべき問題は何処にあ
るかが教へられます。

産 業

昭和三十一年産米の増産対策指導方針

昭和三十年産米は天候にも恵まれ、戦後最高の収穫を収め得ましたが、今後も早くから増産対策を立て、次の事項の徹底に努めましょう。

種別	実践事項	実 践 日 標
水陸稲	一、優良品種選 二、中生品種 綾錦、黄金錦、金南風 三、耐肥力品種 秀峰、金南風、東海千本、豊千本 四、良質品種 中京旭、東海旭、愛知旭	一、早生品種 銀河、秀峰、若葉、豊林十七 二、中生品種 綾錦、黄金錦、金南風 三、耐肥力品種 秀峰、金南風、東海千本、豊千本 四、良質品種 中京旭、東海旭、愛知旭
水 稲	一、種痘の消毒 水銀剤利用 二、改良苗代の実施 折衷式改良苗代 保温折衷苗代 三、苗代播種量の適正化 山村一、五合 四、苗代面積の確保 山村十三坪、十五坪 五、苗代日数 四十五日、五十日 六、苗代の薬剤撒布の実施	一、種痘の消毒 水銀剤利用 二、改良苗代の実施 折衷式改良苗代 保温折衷苗代 三、苗代播種量の適正化 山村一、五合 四、苗代面積の確保 山村十三坪、十五坪 五、苗代日数 四十五日、五十日 六、苗代の薬剤撒布の実施
水 稲	一、特殊早植 四月下旬、五月上旬 二、普通早植 五月上旬 三、普通植 六月上旬	一、特殊早植 四月下旬、五月上旬 二、普通早植 五月上旬 三、普通植 六月上旬
水 稲	一、堆肥、空ワラの合理的施用 二、緑肥の合理的施用 三、人糞尿、灰類の合理的施用	一、堆肥、空ワラの合理的施用 二、緑肥の合理的施用 三、人糞尿、灰類の合理的施用
水 稲	一、病害虫の防除体制を整備し被害の早期発見に努め迅速に共同防除の徹底を期すること 二、いもち病 水銀粉剤、銅水銀粉剤、銅粉剤を反当 三、四斑又は水銀剤八斗 三、いらはがれ 水銀粉剤	一、病害虫の防除体制を整備し被害の早期発見に努め迅速に共同防除の徹底を期すること 二、いもち病 水銀粉剤、銅水銀粉剤、銅粉剤を反当 三、四斑又は水銀剤八斗 三、いらはがれ 水銀粉剤



農協の販売購買事業

農協の販売購買事業の理想は、農協の販賣購買事業の理想であります。ところがそれは以前のこと、現在の経済情勢下は容易でない。然も相場については新聞ラジオなど、どんな山の中までウトイ相手はいない。

そこで先ず販賣事業については、必ず高く買って呉れる相手は金廻りの悪い、危険な得意先に限り、現金で確実な取引相手は、決して高く買はない。

それを高く、無理に売りたいのが人情で、つい金のない相手に引つ掛り、貸し倒れで損をすることになる。

農協としては、何でも現金確実な取引をしなければならぬ。

それは値段が安い、これでは農協の販賣事業は成り立たない。さあこれが大切なところですよ。

皆さんの農産物は、皆んな農協に全般的に委託され、農協はまた果販連に全部取纏め果連はまた全国連に全集荷をいたしたならば、これは大きな力です。

売る者も対等の立場で、需要者に適正価格で配分のできる理想的な取引が行われます。そこで、現在全国的に農協運動として、農産物の農協全利用共同委託販賣を推進し、着々効果を挙げつゝあります。

次に購買事業については、農協としては肥料、飼料、農薬、農機具等生産資材が重点でありまして、特に肥料は現在農協が全国的に、七割以上の取扱いを占めており、相場を上手に仕入れる等は以前のごとで、これまた農協としては果購連、全国購連を一貫せる系統組織を通じ、肥料製造会社と契約し、資金も流し、平均共同購入の方式をとつて安帯価格による理想取引を推進

水陸稲	七、秋落防止
一、土壌の矯正 堆肥の増産と増施 二、耕土改良事業の推進 肥土の客入 三、土地改良事業の計画実施 四、計画施肥に基づく施肥の推進	もんがれ病 銅水銀剤又は銅剤 二化めい虫 一化期 BHC 三斑田植前二週間 二化期 BHC 三斑田植前二日頃 八月二十二日頃 食入防止 八月二十七日頃 一回撒布 うんか BHC 又は DDT 粉剤 反当 三斑撒布

農事メモ

保温折衷苗代の技術は、はつきりした科学的な育苗法であります。

この苗代育苗によつて正しい稲作りをすれば、一般に予定通り、太い丈夫な苗が作れて米作の積極的増収を図ることができま。

このことは、本山吉田村としても、今までの技術を正しく実行された人々の実績を見れば、はつきり証明されることと存じます。

この技術は、寒冷地帯から山間地帯の稲作を救つたばかりでなく、平坦地においても

保温折衷苗代を 実施いたしましょう。

営農改善設計の立場からしても、特殊早植、二期作栽培にも応用されて、成果を上げていく実状であります。

水稲作における収量の増減が農家経営経済に及ぼす影響は極めて大きく思ふ時、経営の安定維持維持拡大のために本年の稲作は万難を排して安定作を期さなくてはならない。

その安定策の第一手段として広範に実施したいのは、保温折衷苗代育苗による熟前の早期植付けかと存じます。

保温折衷苗代も普及し始めてから数年になり、その技術も普通化されており、普及上さして障害となる問題は無いように思いますが、敢て取り

ろが見受けられますが、それよりも全村的に必要なことは、裏作物との関係で、全面的に実施することはできないとして、一毛作の休閑田は勿論、レンゲ田などの早植可能地は、極力保温折衷苗代を利用して安定稲作の第一歩を踏み出すことを奨励し、安心して取り入れられる技術と考えますので本年はもつと多くの人々に実施していただくよう希望いたします。

なお保温折衷苗代の詳細な作り方につきましては、部落生産組合を通じてお返しいたしますから御参考に供して下さい。

(農改善普及員)



郷土研究

山吉田村の今昔 ⑩

学校の変遷(三)

一、教育令時代の学校

明治十四年四月、改正教育令に基いて小学校教則綱領が制定された。

これは我国の小学校制度を知る上に、頗る価値のあるものである。

小学校を初等、中等、高等の三に別け、初等科中等科は各三箇年、高等科は二箇年で計八箇年の制度であつた。

さて明治十二年頃から、明治十七八年頃までは、知育全盛の時代で、明治初頭からのアメリカ模倣の教育は、次第にイギリス思想をくむ、西洋文化を採入れることになつて、文部省はしきりに学校の施設教員の資質向上、並に一般庶民に対する教育の理解認識など、学事奨励のため大いに意を注いだ。

褒賞規定を定めて、全国の優良学校、教員、生徒、学事功労者など選賞したのもこの頃である。

その際、表彰を受けたのは下吉田学校及び校長本田清七学務委員田中喜平太の両氏であつた。

尚記録に依れば、明治十四年の下吉田学校の児童数は九三名で、内男四九、女四四、黄柳野学校の児童数は五三名で、内男三二、女二一である。

翌十五年には、児童数は益々増加して校舎は狭くなり、

四月には黄柳野学校が新築され、七月には下吉田学校が改築された。

更に十一月には、学区の改正となり、従来使用した学校の番号は廃止となつて、新に次の通り校名変更があつた。

八名郡第九学区公立小学下吉田小学校。

全第十学区上吉田小学校。

全第十学区黄柳野小学校。

全第十学区竹ノ輪小学校。

明治十七年一月下吉田学校長石川甫先生が死去せられ後任として八名郡下条小学校長本田清七先生が来任された。

先生は大正七年退職されるまで凡そ四十年、本村風教のために尽瘁された。

その功績は世に稀れに見るところである。

かくて明治十八年の庶政大改革によつて、教育令は廃止され翌十九年四月小学校令の頒布となり、後永々施行されて来たのである。

二、当時の教科書

知育万能のこの時代は、教科書も多くは西洋の翻訳で、難解なものも詰込み主義で、豊富な知識を得させることに主力をおいた。

例えば中等科では、日本立志篇、蒙求(もうきゆう)を読み、算術は数学三千題を片端から練習し、地理は日本地誌略三冊を了え、更に万国地誌

略五冊を学び、歴史は日本略史八冊を暗記させた。

高等科に入れば修身は「小学」を暗記し、読書は十八史略、算術は級数、求積から進んでは幾何を学び、又新来の器械を使用して実験を行い、物学によつて物理、化学、博物を学ぶと言ふようにその程度は今日の高等学校以上である。

学科によつては、現在大学でも学ばないものが沢山ある遠近にその名を知られた、八名郡富岡高等学校では、中等学校の教科書を使用し、化学の如きはレムゼン氏化学書二冊を用いたといふ。

そのためか、優秀な生徒はぐんぐん進んで、全国的な名士も沢山出ている。

何れにしても、この時代の

常識の窓

七、死んだ妻の妹との結婚は死んだ妻、或は離婚した姉妹と再婚することはよく有りますが、これは血族でなく尊族です。それによつて、勿論、妻が夫と離婚して夫の兄弟と結婚するのも同様です。

八、内縁の夫についてよく世間には内縁の夫婦といふのがありますが、これに内縁の法律的性質について書いて見ましよう。

内縁の夫婦とは婚姻届をしないけれども事実上夫婦として共同生活を続けている男女をいふ。婚姻届をしない以上は、たとえ、仲人を立て立派に結婚式を挙げても、親戚知人に披露しても法律上は

教育が、如何に生徒の知識を多く持たせるかに主眼をおいたことがうかがわれると共に当時西洋心算が社会一般の風潮でもあつたのに気付かれる以上のようなわけで、これを教える教員の学力をつけるために、講習会や検定試験が、郡役所の主催で度々行われた。また明治十七八年の頃から、師範学校入学志願者は郡で厳重な選抜試験の上入学させたので、本郡などは優秀な教員が續々養成されて、当時八名郡と言へば県下にその名声をひびかせていた程である。

(附記)

○下吉田学校校長石川甫先生の墓碑は、本田清七先生と共に下吉田紺屋平共同墓地に建てられています。

教育が、如何に生徒の知識を多く持たせるかに主眼をおいたことがうかがわれると共に当時西洋心算が社会一般の風潮でもあつたのに気付かれる以上のようなわけで、これを教える教員の学力をつけるために、講習会や検定試験が、郡役所の主催で度々行われた。また明治十七八年の頃から、師範学校入学志願者は郡で厳重な選抜試験の上入学させたので、本郡などは優秀な教員が續々養成されて、当時八名郡と言へば県下にその名声をひびかせていた程である。

(附記)

○下吉田学校校長石川甫先生の墓碑は、本田清七先生と共に下吉田紺屋平共同墓地に建てられています。

夫婦でないから、やはり内縁でありませぬ。従つてその間に生れた子は嫡出子になれず、若し父の認知がなければ父子の間には法律上親子関係すら生じませぬ。又内縁の夫婦は、一方が死亡しても他方には相続権がありませんし、夫婦別れをしても離婚になりません。

九、相手方が婚姻届を出すのに応じなければ

しかし婚姻は強制出来るものではない。内縁の夫婦の一方が婚姻届を出すことに応じなければ法律上の夫婦になることが出来ないし、相手方が別れようと云えば拒む方法とありませぬ。

相手ごとくしても婚姻届を出すことに同意しない場合、又は相手から棄てられた場合の法の保護としては、婚姻届の不履行の理由で相手に対し慰謝料その他の損害賠償を請求することが出来るのみであります。

結婚について

旧民法の下では、家の制度があつたために婚姻にも種々の制限がありました。例へば戸主が女の場合には隠居をしなければ他家に嫁することは出来ないとか、結婚するに親や戸主の同意を必要とする場合などもあつたので、己む得ず内縁関係を結ぶて行かれた方も多いと思ひます。しか

○明治維新前後からの古い教科書は、各家庭にも残つてゐると思ひますが、これは教育資料として参考になりますから大切に保存しておいて下さい。

戸籍

一月の出生と死亡

日	字	氏名	父親
九	紺	加藤 猛	昭三
一六	同	吉田 光男	澄也
一六	中	石野 利之	和美
一九	楠	松下 弘美	照美
二二	高	内藤 富喜	亀次
二二	松	夏目 有住	久四
二四	紺	馬場 陽子	九夫
二四	竹	内藤 智子	留一

仔豚市況通報

二月二十三日

一市場名	一ノ宮市場	
一出場頭数	六三二頭	
最高	最低	平均
牡	買	買
牝	買	買
買	買	買

購買者九三名
次回市場案内
三月八日 仔豚約六〇〇頭

二、死亡

日	字	氏名	年令
二〇	上	新戸 梅田より	七三
二一	多	利野 中村志げの	五六
二五	大	田輪 鈴木いせ	五九
二六	中	新戸 花田千恵子	〇

編集後記

覆部として綻びる梅の花に春の萌しを感じますが、役場ではまだ今予算編成期に入り来るべき新年度は、憂する郷土の大きな発展を期して連日のように部門別の委員会や打合せが開催されて、村づくりの構想が練られております。

そのため事務当局も多忙を極め、村報の記事も、行財政の面が少なかつたことをお詫びいたします。

この次には、新年度の構想をお伝えできるのではなやかと思つております。